

2014 年度 第 4 回環境科学セミナー

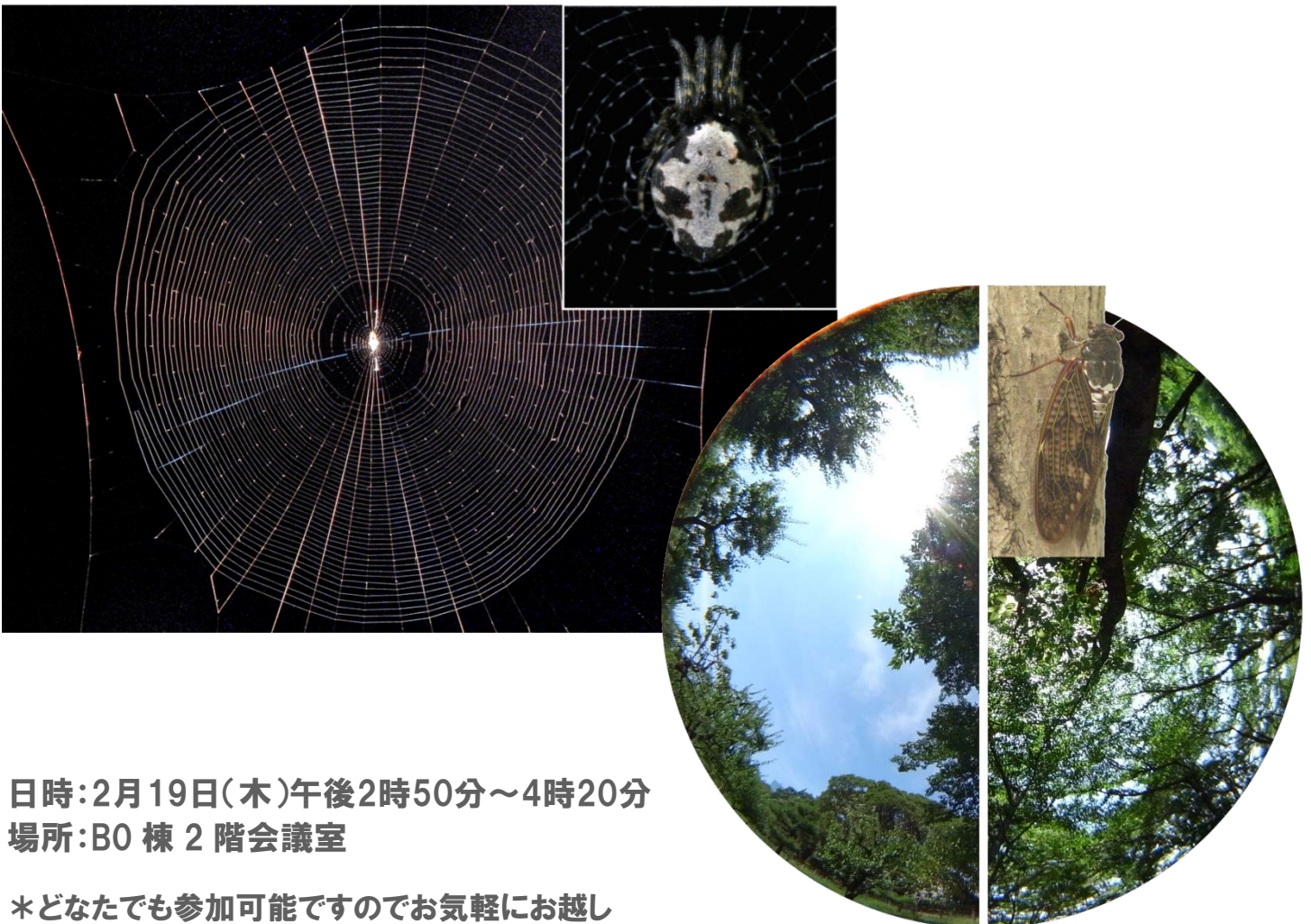
食う-食われる関係から見える ”構造”と生物の相互作用

中田兼介(京都女子大学現代社会学部)

高倉耕一(滋賀県立大学環境科学部)

天敵と餌の関係は、生態系を形作る最も基本的な相互作用の一つです。食う側も食われる側も、それぞれが生きる環境の”構造”を利用し、時には自ら作り出すことにより、複雑な生物-環境の相互作用を形成しています。今回のセミナーでは2名の専門家にお越しいただき、いずれも身近な生物である、食う側のクモと食われる側のセミを題材に、”構造”と生物の相互作用についてご講演いただきます。

たくさんのご来場をお待ち申し上げます。



日時:2月19日(木)午後2時50分～4時20分

場所:B0 棟 2 階会議室

*どなたでも参加可能ですのでお気軽にお越しください!

連絡先: 飯村康夫 (B6-205, iimura.y@ses.usp.ac.jp)